

# 福井県の下水道



九頭竜川浄化センターのガスタンク

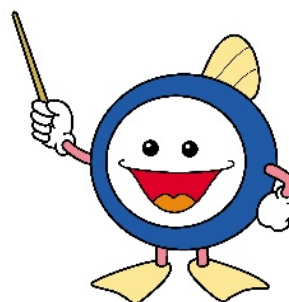
福井県土木部河川課  
下水道整備・管理グループ  
(令和2年2月)

## 目 次

1.	下水道の役割	1
2.	下水道のしくみ	2
3.	下水道の種類	4
4.	下水道事業の状況	7
5.	福井県内の主な下水道事業	9
6.	九頭竜川流域下水道事業	11
7.	下水道計画	13
8.	下水道PR活動	14
9.	資料	19
(1)	県内市町別の汚水処理人口・下水道処理人口普及率（平成30年度末）	19
(2)	福井県の下水汚泥リサイクル率（平成30年度末）	22
(3)	福井県内の下水道事業の概要 （公共下水道、特定環境保全公共下水道、流域下水道）	23
(4)	福井県における下水道の歴史	25



九頭竜川浄化センター  
イメージキャラクター



下水道マスコットキャラクター  
「スイスイ」

# 1. 下水道の役割

下水道は、以下の4つの役割によって水環境に大きく貢献しております。

## ①. 生活環境の改善

汚水を速やかに排除することで、悪臭や、蚊・ハエの発生を防ぎます。  
水洗トイレが使えるようになり、衛生的で快適な生活が営めます。

## ②. 雨水の排除（浸水の防除）

雨水を速やかに排除することで、生命や財産を守ります。

## ③. 公共用水域の水質保全

汚水を処理することで、河川や海の水質を保全します。

## ④. 資源の有効利用

汚水の処理によって発生する下水汚泥等の資源・エネルギーを有効利用し、省エネルギー・リサイクル社会の実現をすすめます。



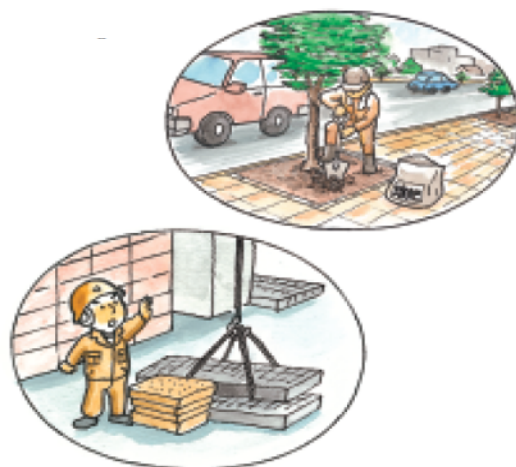
① 生活環境の改善



③ 公共用水域の水質保全



② 雨水の排除（浸水の防除）



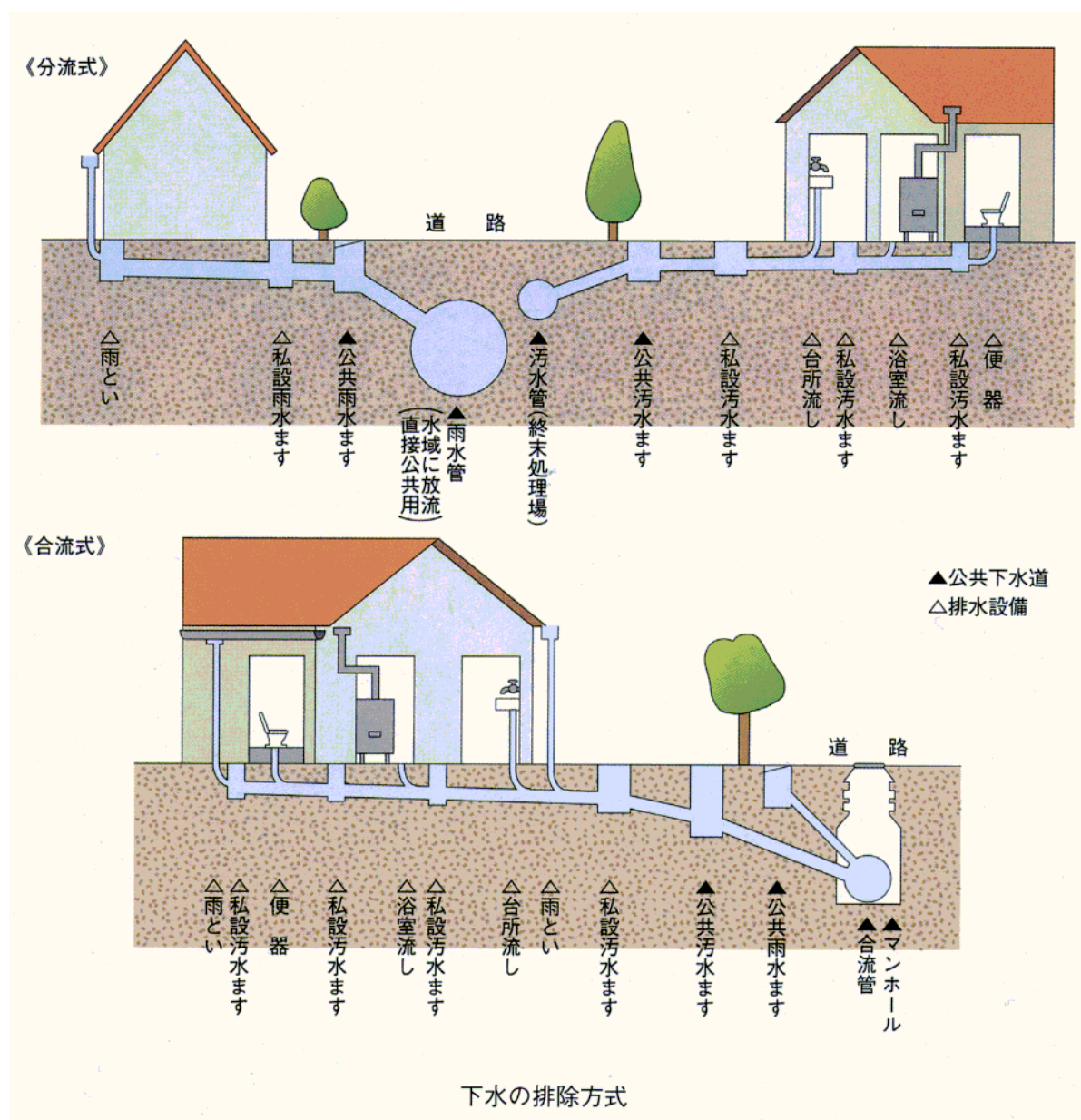
④ 資源の有効利用

## 2. 下水道のしくみ

下水道施設は、管路施設（管きょ、マンホールなど）ポンプ場、処理場から構成されています。一般家庭、工場、事業所から排水される汚水は、各家庭や工場に設けられている排水設備から汚水まずに流れ込み、汚水管を通じて処理場へ流入し、処理された後、公共用水域に放流されます。

### 1) 管きょ

下水の排除方式は、汚水と雨水を別々の管渠系統で排除する分流式と汚水と雨水を同一の管渠系統で排除する合流式があります。近年の下水道では、公共用水域の水質保全における下水道の役割が重視されるようになり、分流式を採用しており、既存の合流式においては改善事業を実施しました。





## 2) ポンプ場

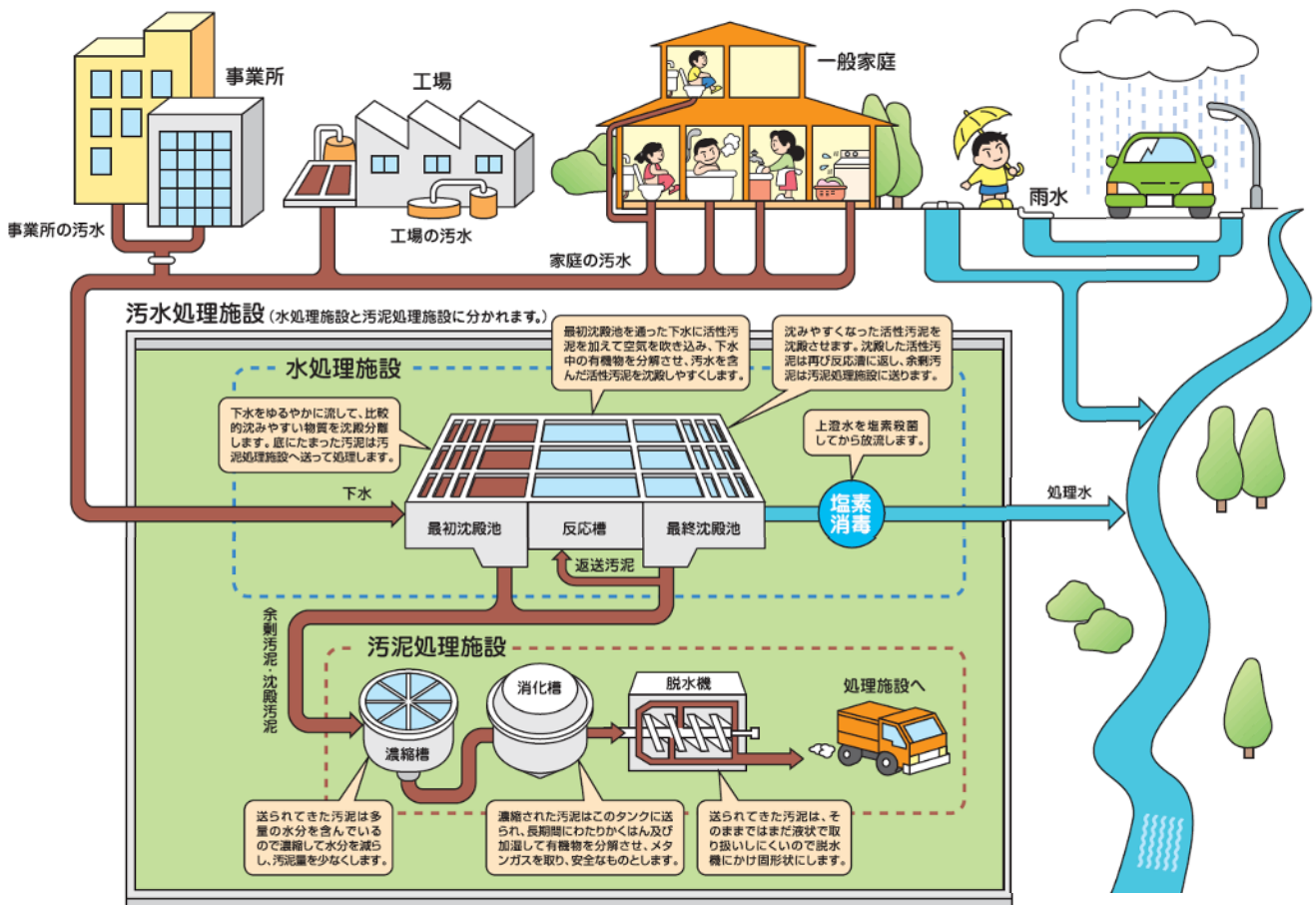
管きよは、原則的に自然流下により下水を集め運搬するよう勾配がつけられているため、一般的に下流になるほど深く埋設されます。

管きよの埋設深さがある程度以上深くなると費用および管理の面から不利になるため、ポンプ場を設置して下水を汲み上げ、管きよの埋設深さを浅くします。

## 3) 終末処理場（浄化センター）

終末（污水）処理場は、水処理施設と汚泥処理施設に分かれており、個々の処理施設の組み合わせとその配列は、それぞれの処理場の置かれている諸状況を考慮して決定しています。

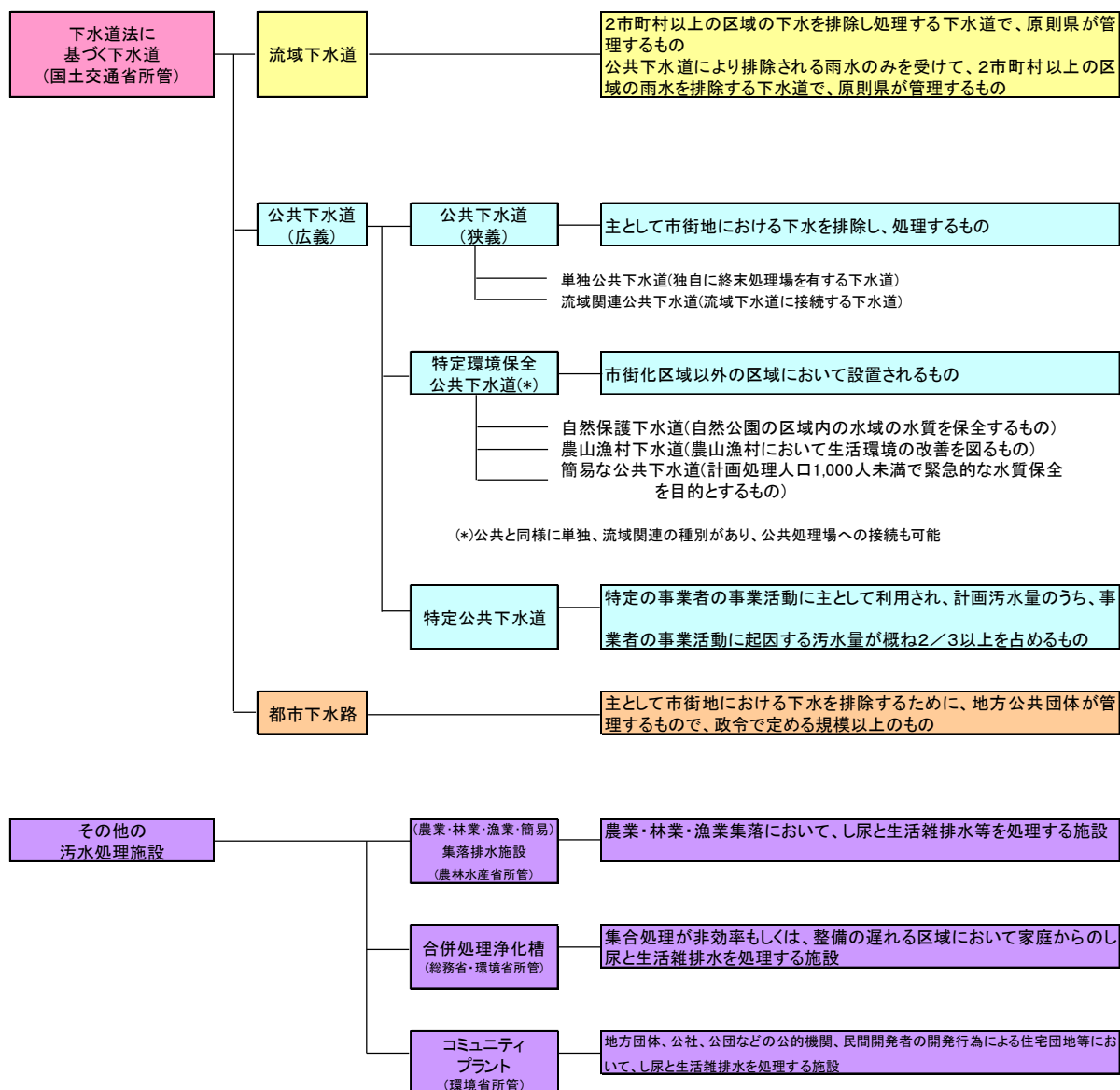
日本の污水処理施設はほとんど生物処理法であり、生物処理法は浮遊生物法と固着生物法（生物膜法）に分けられ、下水処理場の多くは標準活性汚泥法を採用しています。

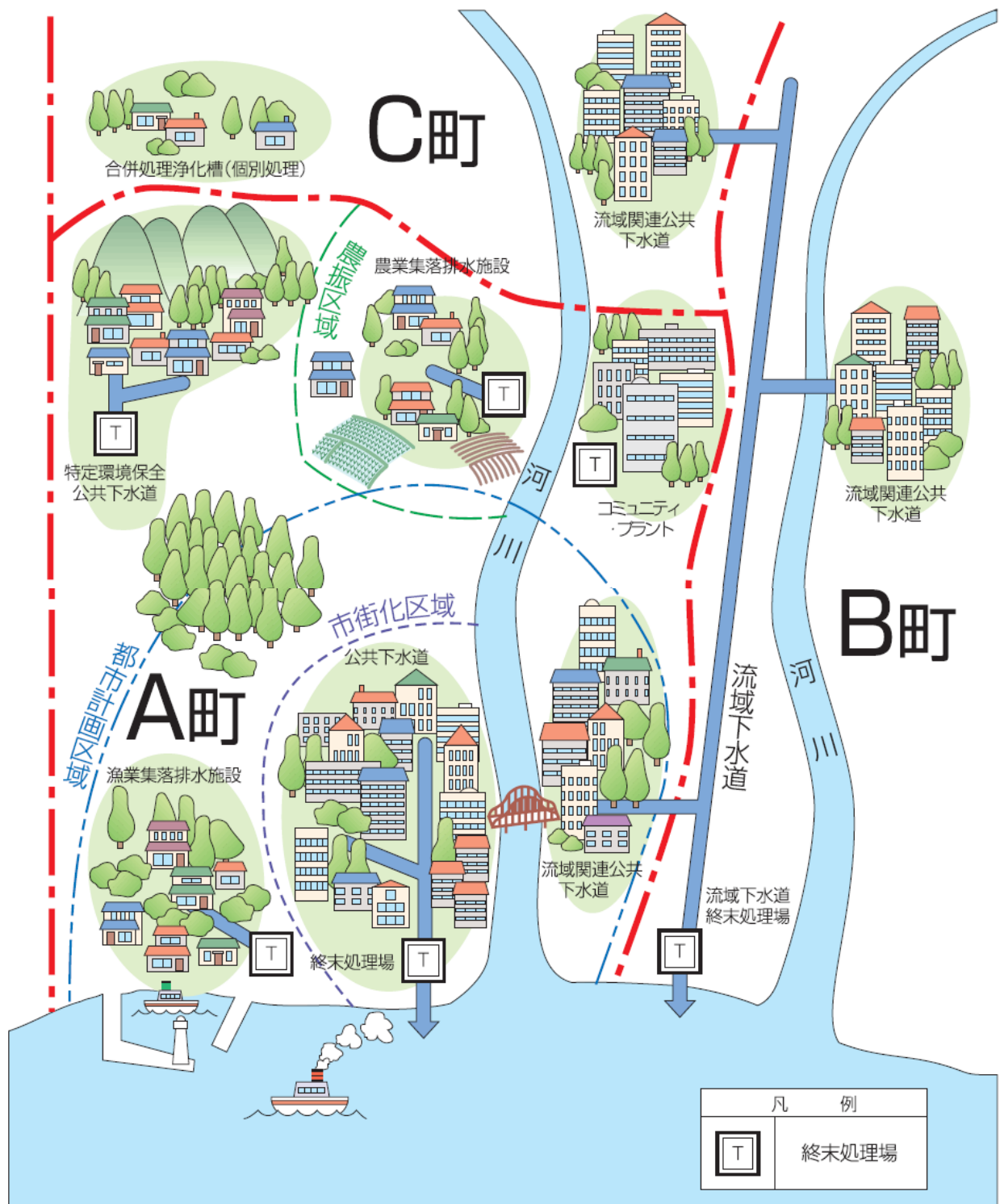


終末処理施設（標準活性汚泥法）

### 3. 下水道の種類

一般に下水道と呼ばれているものは整備対象とする区域ごとに目的や事業規模が異なり、以下のように「下水道法に基づく下水道」と「その他の汚水処理施設」に区分されます。





污水处理施設整備概念図

## 4. 下水道事業の状況

本県の下水道整備は、県内17市町全てで下水道計画を持っており、平成30年3月末現在、九頭竜川流域下水道事業（県）のほか、9市4町1事務組合で公共下水道事業（流域下水道関連を含む）、3市6町で特定環境保全公共下水道事業（公共下水道事業関連を含む）を実施しています。

また、9市8町1事務組合全てで供用を開始していますが、平成30年度末の下水道普及率は80.3%となっており、今後も県と市町との連携を密にして、整備を推進していきます。

### （1）流域下水道

本県では、竹田川流域（九頭竜川支川）における、関係市（福井市の一部、あわら市、坂井市）の広域圏行政の一環として九頭竜川流域下水道事業を計画し、昭和52年（1977年）から事業に着手、昭和57年（1982年）7月に坂井市（旧三国町）で供用を開始しました。その後順次供用を開始し、平成元年（1989年）からは全市で処理を行っています。

また、平成8年度（1996年）からは、汚濁（富栄養化）の進む北潟湖の水質保全を目的とし、北潟湖流域を編入して整備を行っています。

### （2）公共下水道

本県では、9市4町1事務組合で公共下水道事業（流域関連を含む）を実施しており、すべての市町、事務組合で供用を開始しています。

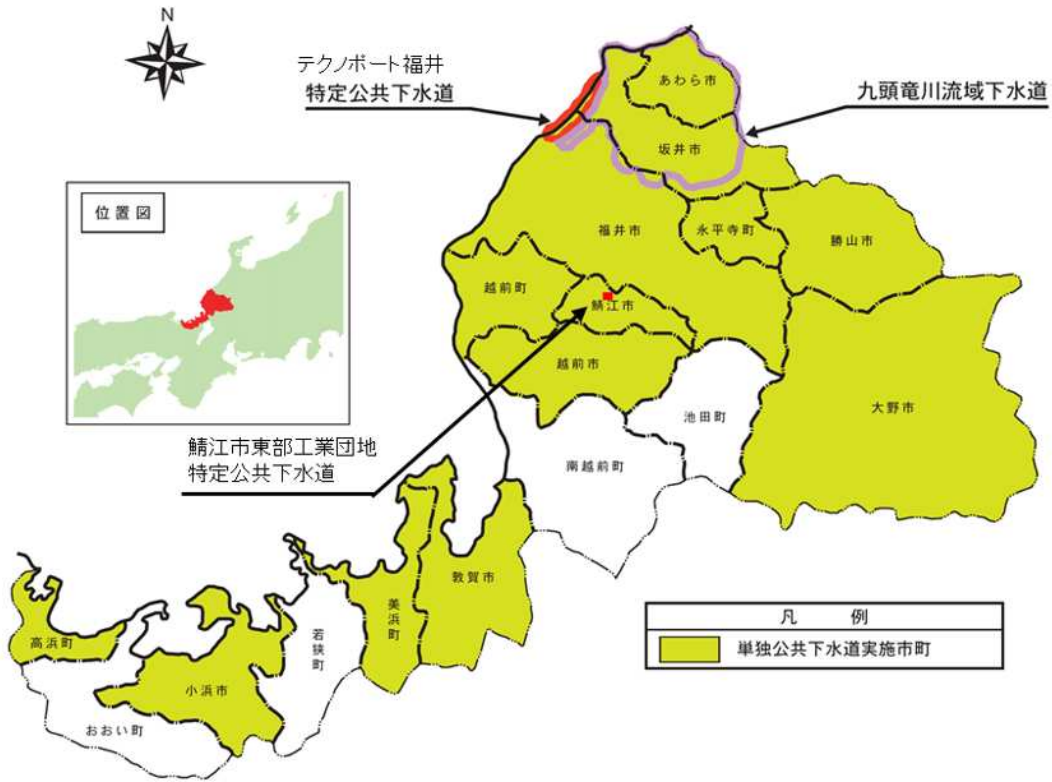
### （3）特定環境保全公共下水道

本県では、3市6町で特定環境保全公共下水道事業（公共関連を含む）を実施しており、供用を開始しています。

### （4）特定公共下水道

本県では、福井臨海工業地帯（テクノポート福井）の工場排水処理を目的として、昭和48年（1973年）に福井臨海特定公共下水道を計画し、平成4年（1992年）度より福井県企業庁においてテクノポート福井造成事業の一環として事業を行い、平成5年（1993年）12月から供用を開始しています。

また、鯖江市においても昭和49年（1974年）10月から供用を開始しています。



下水道実施状況図（令和2年2月末現在）



市町等の公共下水道整備状況

令和2年2月末現在

市町等名	公共下水道		特定環境保全公共下水道		特定公共下水道	備考
	単独	流域関連	単独	公共関連		
福井市	●	●	●			
敦賀市	●					
小浜市	●					
大野市	●					
勝山市	●					
鯖江市	●			●	●	
あわら市		●				
越前市	●			●		
坂井市	● (五領川事務組合含む)	●				
永平寺町	● (五領川事務組合含む)		●			
池田町			●			
南越前町			●			
越前町	●		●	●		
美浜町	●					
高浜町	●					
おおい町			●			
若狭町			●			
五領川公共下水道事務組合	● (坂井市、永平寺町)					
テクノポート福井					● (福井市、坂井市)	
合計	14		9		2	

●供用中

※合計の欄の数値は、市町及び事務組合の数を示す。

## 5. 福井県内の主な下水道事業

### 生活環境の改善・公共用水域の水質保全

#### 未普及対策の推進

生活環境の改善や公共用水域の水質保全のため、下水道の整備を進めています。

※普及率等の状況は、P19～P21参照

【福井市、敦賀市、大野市、鯖江市、越前市】

※【 】内は、該当事業を実施している主な自治体



推進工法（開削しない方法）による管布設工事（福井市）



開削による管布設工事（福井市）

#### 老朽化対策の推進

故障によるトラブルを未然に防ぐため、長寿命化計画（令和2年まで）やストックマネジメント計画に基づく、点検・調査、改築を実施しています。

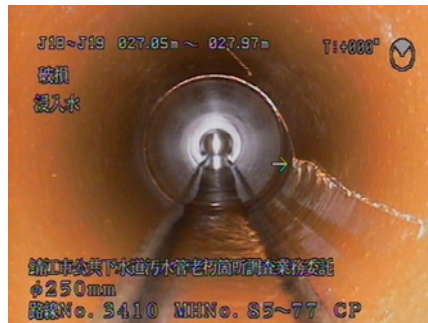
※長寿命化計画は施設毎（処理場、ポンプ場）の計画ですが、ストックマネジメント計画では、下水道施設全体で優先順位をつけて、改築のみでなく点検・調査計画も同時に定めています。



五領川浄化センター 最初沈殿池 汚泥掻き寄せ機 長寿命化工事  
（五領川公共下水道事務組合）



ポンプ据付工事  
（九頭竜川流域下水道）



污水管調査業務（管径25cmの内部写真）  
（鯖江市）



九頭竜川浄化センター 反応槽 散気装置設置（九頭竜川流域下水道）

## 地震・災害対策の推進

大規模な地震に備え、ポンプ場・処理場・管路施設の耐震化工事を実施しています。

【福井県流域、テクノポート福井、福井市、勝山市、あわら市、坂井市、高浜町、五領川公共下水道事務組合】

下水道BCP（災害時に下水道機能の継続・早期回復を図るための計画）を策定し、被害の最小化を図る「減災対策」に取り組んでいます。（県内すべての自治体で作成済）

## 広域化・共同化の推進

効率的な下水道事業の運営を図るため、汚水処理施設の統廃合（下水道同士だけでなく、農業集落排水等も含む）の推進や、市町の枠を超えた共同化の検討を進めています。県内すべての自治体で、令和4年度までの広域化・共同化計画策定を目標としています。

## 水質改善の推進

湖沼・海域等の公共用水域の水質環境基準を達成・維持するため、窒素やリンといった富栄養化の原因物質等を多量かつ確実に除去できる高度な処理方法により、必要な放流水質を確保しています。

本県では、閉鎖性水域の水質保全を図るため敦賀市（敦賀湾の水質保全）と若狭町（旧三方町）（三方五湖の水質保全）と高浜町（若狭湾東部海域の水質保全）において高度処理を実施しています。

（テクノポート福井（日本海の水質保全）では、工場排水の難分解性COD対策を行っています）

## 雨水の排除（浸水の防除）

### 浸水対策の推進

近年、多発する集中豪雨に対応するため、雨水を排除するポンプ能力の向上や、雨水管きよの整備を推進しています。

【福井市、敦賀市、小浜市、鯖江市、あわら市、越前市】

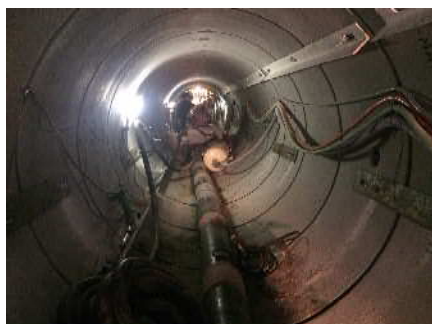
減災対策として、内水ハザードマップの作成や防災訓練を実施しています。

【内水ハザードマップを作成公表している自治体：福井市、小浜市】

※【 】内は、該当事業を実施している主な自治体



推進工法による雨水管きよの整備工事（勝山市）



雨水調整池の整備工事（高浜町）

## 資源の有効利用

### 資源利用の推進

下水汚泥は、肥料やバイオガス、汚泥燃料等の多様な資源として活用できる「日本産資源」です。福井県内では肥料（コンポスト）やセメント原料、建設資材等としてリサイクルしています。※P22参照

## 6. 九頭竜川流域下水道事業

### 1 概要

九頭竜川流域下水道事業は、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を目的に、福井市の一部（森田地区他）、あわら市および坂井市を処理区域として昭和52年（1977年）度から事業に着手し、昭和57年（1982年）度から一部供用を開始しています。現在は、老朽化が進んだ施設の改築や耐震化対策を行っています。また、関係市において下水道の整備を進めており、流域下水道としての平成30年（2018年）度末の汚水処理人口普及率は97.2%となっています。

### 2 計画および整備状況

計画目標年次	全体計画	整備状況
	令和12年（2030年）	平成30年（2018年）度末
関係市名（供用開始年） □は処理場所在地	福井市（S62.6） あわら市 旧芦原町（S59.7） 旧金津町（S60.10） 坂井市 旧三国町（S57.7） 旧春江町（S62.4） 旧丸岡町（H1.4） 旧坂井町（H1.4）	同 左
処理面積	5,459ha	4,587ha
処理人口	119,960人	131,709人
計画汚水量	74,221m <sup>3</sup> /日最大	76,200m <sup>3</sup> /日最大 （現有処理能力）
管渠延長	73.9km	73.9km
中継ポンプ場	6箇所 〔竹田川、兵庫川、片川 芦原、春江、北潟〕	同 左
接続点数	32箇所	同 左
処理場敷地面積	14ha	同 左
処理方法	標準活性汚泥法	同 左
放流先（環境基準値）	一級河川九頭竜川（B-I）	同 左



九頭竜川浄化センター 主要施設配置図

① 場内ポンプ場	⑥ 汚泥処理棟	⑪ 放流ポンプ棟
② 分配槽	⑦ 汚泥濃縮タンク	⑫ 消化ガス発電機
③ 管理本館	⑧ 汚泥濃縮棟	
④ 水処理棟	⑨ 消化タンク	
⑤ 滅菌・砂ろ過棟	⑩ ガスタンク	





管渠施設（幹線）

①	北部幹線	⑤	金津幹線	⑨	北部圧送幹線
②	南部幹線	⑥	春江幹線	⑩	南部圧送幹線
③	坂井幹線	⑦	丸岡幹線	⑪	北潟幹線
④	芦原幹線	⑧	西部幹線		



## 7. 下水道計画

### 計画・構想の状況

#### 流域別下水道整備総合計画（流総計画）

本県では、県内各所にある水質環境基準を保全もしくは達成するため、嶺北地方における「九頭竜川流総計画」と嶺南地方の「若狭湾流総計画」の2つの流総計画があります。

#### 都道府県構想 ※別途HP参照

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kasen/g-osui/osuisvorigeniivomitooshi.html>

令和元年7月に、未整備地区における汚水処理施設の早期概成や、既整備地区の効果的な改築・運営管理を目指した今後の各市町の汚水処理施設整備について取りまとめた「福井県内の汚水処理施設整備の現状と見通し2019」を策定しています。

#### 下水汚泥処理計画

本県では、下水道の普及拡大に伴い年々増加する下水汚泥を自然環境への負荷を低減し有効な資源として利活用するため、平成15年3月に「福井県下水汚泥処理総合計画」を策定しています。

## 8. 下水道PR活動

### 9月10日は「下水道の日」

「下水道の日」は、昭和36年、著しく遅れている下水道の全国的な普及を図る必要があることから、このアピールを全国的に展開するため、「全国下水道促進デー」として始められました。

21世紀のスタートにあたる平成13年、旧下水道法が制定された明治33年から100年を迎え、その記念行事が行われたことなどから、より親しみのある名称として「下水道の日」に変更されました。

「下水道の日」が9月10日と定められたのは、下水道の大きな役割の一つである「雨水の排除」を念頭に、立春から数えて220日目にあたり、台風シーズンであるこの日が適当であるとされたことによります。

下水道事業について、県民の理解と協力を得ることを目的に、下記のような啓発活動を実施しています。

#### 【下水道パネル展】

「下水道の役割」「県内の下水道」を紹介したパネル、“マンホールカード”になっている各市町の「デザインマンホール」を展示しました。

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 県庁ホール（県庁1階）           | 令和元年8月26日（月）～8月30日（金） |
| 2. 福井県生活学習館 ユーアイふくい情報ルーム | 令和元年8月31日（土）～9月5日（木）  |
| 3. 福井県立図書館 エントランス        | 令和元年9月6日（金）～9月12日（木）  |



1. 県庁ホール展示状況



2. 福井県生活学習館  
ユーアイふくい 展示状況



3. 県立図書館 展示状況

**【街頭 PR 活動】**

・令和元年9月10日（火）17時半頃 から JR 福井駅西口周辺で下水道の日 PR ポケットティッシュの配布を行いました。※なお、県内他市町でもショッピングセンターなどで同様の活動を行っています。





## 【マンホールカード配布場所】

県内5市において、下水道のデザインマンホールをカード化した、マンホールカードを無料配布しています。

(マンホールカード配布自治体：福井市、敦賀市、大野市、勝山市、越前市)



福井市下水道部 下水管理課  
福井市大手 3-13-1  
(企業局庁舎 4階)  
電話 0776-20-5652  
平日の 8:30~17:15 に配布します。ただし、年末年始はお休みです。



福井市一乗谷朝倉氏遺跡復原町並の南側チケット売り場  
電話 0776-41-2330  
9:00~16:30 に配布します。ただし、年末年始はお休みです。



敦賀鉄道資料館 敦賀市港町 1-25  
電話 0770-21-0056  
9:00~17:00 に配布します。ただし、月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始はお休みです。



本願清水イトヨの里  
大野市糸魚町 8-44  
電話 0779-65-5104  
9:00~17:00 に配布します。ただし、月曜日、国民の祝日の翌日、年末年始はお休みです。



長尾山総合公園管理事務所 (勝山恐竜の森チャマゴンランド)  
電話 0779-88-8777  
9:00~17:00 に配布します。ただし、年末年始はお休みです。



越前市新在家町 8-44 (越前和紙の里パピルス館)  
電話 0778-42-1363  
9:00~16:00 に配布します。ただし、年末年始はお休みです。

水の探検隊バスツアーを開催！（福井県下水道公社）

私たちや魚たちが使った水をきれいにするしくみを学びました。



げせいどう  
下水道クイズラリー

クイズをしながら、楽しく下水道のしくみについて学びました。



くずいゅうがわじょうか しけんしつ  
九頭竜川浄化センター 試験室

下水をきれいにしてくれる「びせいぶつ」をけんびきょうで見ました。



くずいゅうがわじょうか みずしよどう  
九頭竜川浄化センター 水処理棟

水処理施設できれいになった水を確認しました。



くずいゅうがわじょうか ようせいのいけ  
九頭竜川浄化センター 妖精の池

きれいになった水に住んでいる魚たちを観察することができました。



えちぜんまつしますいぞくかん

越前松島水族館

イルカフールの水をきれいにするしくみについて学びました。





# 施設の ミカタ

下水道記念室&下水処理場の見学者募集中です!

## 下水道記念室~下水道の歴史をのぞいてみませんか?

下水道記念室の入り口は、市街地の「芦原街道」と「松本通り」の交差点の南東側の歩道上にあります。普段は目にするのできない下水道管を間近で見ることができます。鍵をかけていますので、見学希望の方は下水施設課まで事前にご連絡をお願いします。

お問い合わせ先: 下水施設課 / TEL.20-5445



ぜひ見学に来てみてね!



夏休みの自由研究に  
役立つかも??

ふくチャンネル  
公開中!



所在地: 福井市春山2丁目

## 日野川浄化センター



建物の屋上には広い公園「スウェッジガーデン」があります。池や東屋、無料で利用できるテニスコートや芝生広場もありますので、ぜひご利用ください。

(休園日や利用時間はHPなどでご確認ください。)

テニスコート(要予約: TEL.26-5838)

芝生広場(半面以上占用の場合は要予約: TEL.26-5701)

福井市で最大の下水処理場で、敷地面積は99,400㎡あり、東京ドーム2個分の広さがあります。処理能力は、128,800㎡/日で、区域内の家庭(約6万世帯)や工場などが使用する水を処理することができます。

処理場の中を見学することができますので、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先: 施設管理センター / TEL.26-5701



スウェッジガーデン



所在地: 福井市黒丸町3-1

## 9. 資料

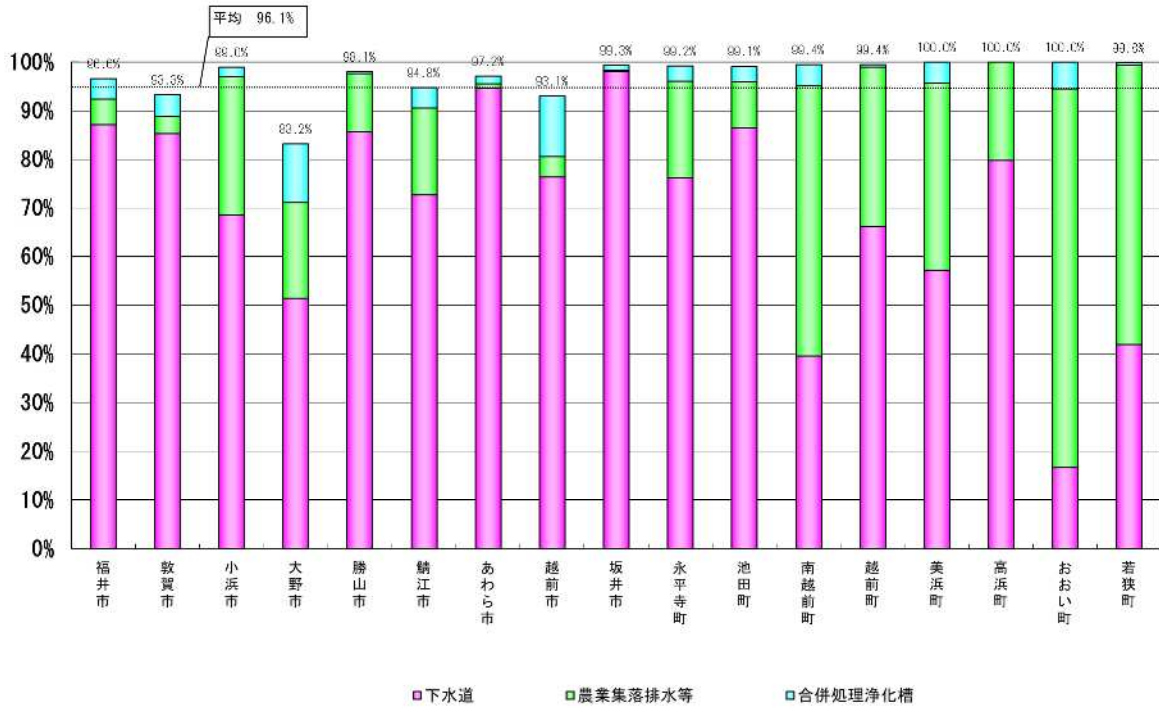
### (1) 県内市町別の汚水処理人口・下水道処理人口普及率（平成30年度末）

汚水処理人口普及率は、行政人口に占める下水道、集落排水、合併処理浄化槽の各汚水処理施設の利用可能な人口の割合を示したものです。

下水道処理人口普及率は、行政人口に占める下水道の利用可能な人口の割合を示したものです。

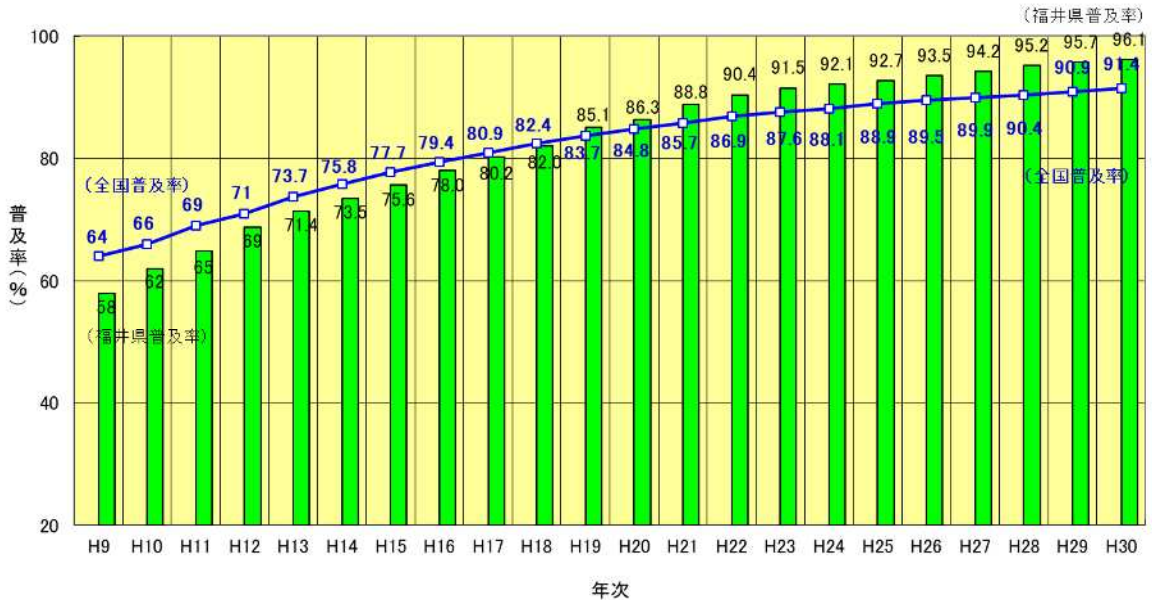
表-7 市町別の汚水処理人口普及率

市町名	総人口 H31.3.31 現在 (人)	汚水処理 施設普及 人口 (人)	汚水処理 人口普及 率 (%)	下水道	下水道	農業集落	農業集落	合併処理	浄化槽
				処理人口 (人)	処理人口 普及率 (%)	排水等 整備人口 (人)	排水等 整備率 (%)	浄化槽等 設置済 人口 (人)	浄化槽 整備率 (%)
福井市	263,109	254,085	96.6%	229,151	87.1%	13,849	5.3%	11,085	4.2%
敦賀市	65,565	61,172	93.3%	55,892	85.2%	2,337	3.6%	2,943	4.5%
小浜市	29,262	28,959	99.0%	20,064	68.6%	8,298	28.4%	597	2.0%
大野市	33,249	27,671	83.2%	17,069	51.3%	6,574	19.8%	4,028	12.1%
勝山市	23,186	22,734	98.1%	19,851	85.6%	2,775	12.0%	108	0.5%
鯖江市	69,374	65,758	94.8%	50,437	72.7%	12,414	17.9%	2,907	4.2%
あわら市	28,190	27,389	97.2%	26,686	94.7%	231	0.8%	472	1.7%
越前市	82,754	77,009	93.1%	63,197	76.4%	3,505	4.2%	10,307	12.5%
坂井市	91,638	91,039	99.3%	89,771	98.0%	315	0.3%	953	1.0%
永平寺町	18,542	18,400	99.2%	14,130	76.2%	3,691	19.9%	579	3.1%
池田町	2,568	2,546	99.1%	2,219	86.4%	244	9.5%	83	3.2%
南越前町	10,610	10,551	99.4%	4,196	39.5%	5,904	55.6%	451	4.3%
越前町	21,519	21,393	99.4%	14,253	66.2%	7,050	32.8%	90	0.4%
美浜町	9,459	9,459	100.0%	5,411	57.2%	3,637	38.5%	411	4.3%
高浜町	10,429	10,427	100.0%	8,315	79.7%	2,111	20.2%	1	0.0%
おおい町	8,233	8,229	100.0%	1,372	16.7%	6,409	77.8%	448	5.4%
若狭町	14,807	14,778	99.8%	6,199	41.9%	8,515	57.5%	64	0.4%
<b>福井県計</b>	<b>782,494</b>	<b>751,599</b>	<b>96.1%</b>	<b>628,213</b>	<b>80.3%</b>	<b>87,859</b>	<b>11.2%</b>	<b>35,527</b>	<b>4.5%</b>

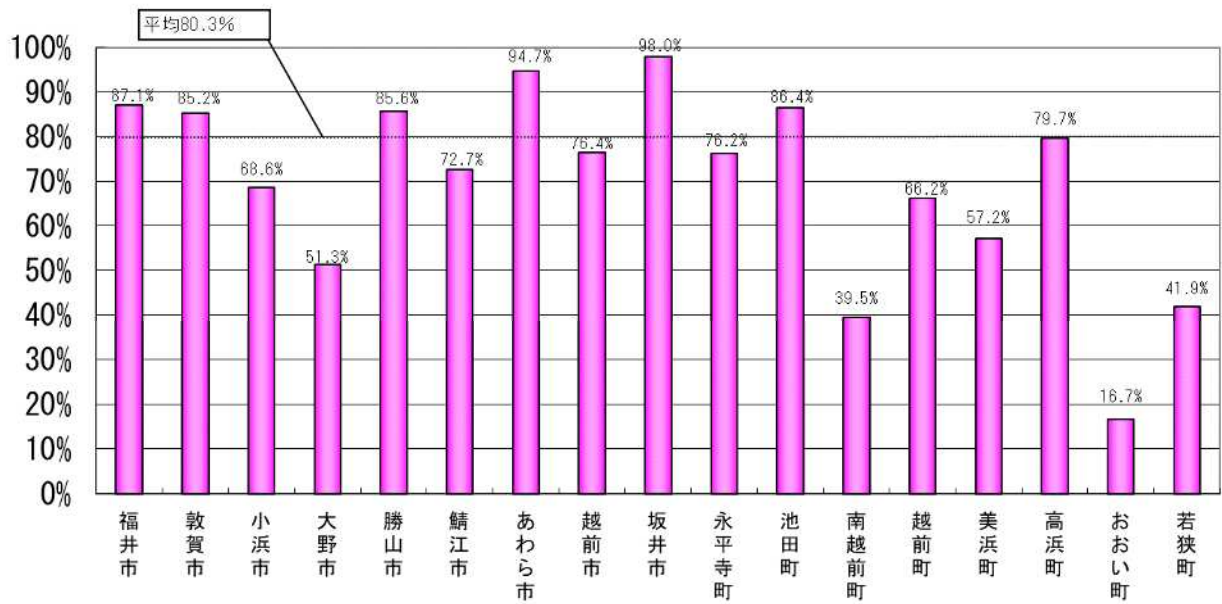


污水処理人口普及率は、行政人口に占める下水道、集落排水、合併処理浄化槽の各污水処理施設の利用可能な人口の割合を示したものです。

図－１ 県内市町別の污水処理人口普及率（平成３０年度末）



図－２ 污水処理人口普及率の推移  
（平成３０年度末の普及率：全国９位）



下水道処理人口普及率は、行政人口に占める下水道の利用可能な人口の割合を示したものです。

図－3 県内市町別の下水道処理人口普及率（平成30年度末）



図－4 下水道処理人口普及率の推移  
（平成30年度末の普及率：全国15位）

## (2) 福井県の下水汚泥リサイクル率（平成30年度）

本県における各処理場から発生する汚泥の処理状況は、下表に示すとおりです。

表－10 各処理場の下水汚泥リサイクル率（県81.2%）

市町名	処理場名	汚泥量				処分状況内訳					下水汚泥リサイクル率
		含水率 (%)	脱水ケーキ(t)			埋立処分(t)	有効利用(t)				
			全量	埋立処分	有効利用		焼却	セメント原料	コンポスト	建設資材等	
県	九頭竜川浄化センター	78.6%	5,534.0	1,336.0	4,198.0	1,336.0	1,708.0	2,490.0	0.0	0.0	75.9%
県	テフボート浄化センター	77.3%	1,746.4	131.8	1,614.6	131.8	1,614.6	0.0	0.0	0.0	92.5%
福井市	境浄化センター		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	日野川浄化センター	78.6%	10,428.1	1,118.2	9,309.9	1,118.2	4,198.3	5,111.6	0.0	0.0	
	産業浄化センター	81.6%	145.1	101.9	43.3	101.9	43.3	0.0	0.0	0.0	
	清水東部環境センター	82.8%	197.2	197.2	0.0	197.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
	清水西部環境センター	83.5%	209.7	209.7	0.0	209.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	美山浄化センター	81.3%	25.4	0.0	25.4	0.0	25.4	0.0	0.0	0.0	
	羽生浄化センター	81.4%	33.9	0.0	33.9	0.0	33.9	0.0	0.0	0.0	
	小計		11,039.4	1,626.9	9,412.4	1,626.9	4,300.8	5,111.6	0.0	0.0	85.3%
敦賀市	天筒浄化センター	75.1%	5,592.3	0.0	5,592.3	0.0	5,468.1	124.3	0.0	0.0	100.0%
小浜市	小浜浄化センター	75.4%	1,555.2	0.0	1,555.2	0.0	1,413.3	141.9	0.0	0.0	100.0%
大野市	大野市下水処理センター	81.9%	447.1	0.0	447.1	0.0	0.0	0.0	447.1	0.0	100.0%
勝山市	勝山浄化センター	82.5%	1,287.0	0.0	1,287.0	0.0	0.0	0.0	1,287.0	0.0	100.0%
鯖江市	鯖江環境衛生センター	80.8%	2,992.6	2,992.6	0.0	2,992.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
	東工汚水処理場	78.5%	120.0	120.0	0.0	120.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	小計		3,405.5	3,112.6	292.9	3,112.6	292.9	0.0	0.0	0.0	8.6%
越前市	家久浄化センター	80.1%	1,386.8	0.0	1,386.8	0.0	102.5	1,284.4	0.0	0.0	
	水循環センター	82.1%	407.9	0.0	407.9	0.0	99.9	308.0	0.0	0.0	
	今立浄化センター	80.0%	51.4	0.0	51.4	0.0	51.4	0.0	0.0	0.0	
	小計		1,846.2	0.0	1,846.2	0.0	202.4	1,643.7	0.0	0.0	100.0%
永平寺町	志比浄化センター		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	中央浄化センター	83.0%	164.7	7.7	157.0	7.7	0.0	157.0	0.0	0.0	
	小計		164.7	7.7	157.0	7.7	0.0	157.0	0.0	0.0	95.3%
池田町	池田水処理センター	83.1%	146.1	146.1	0.0	146.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
南越前町	南条浄化センター	84.7%	188.1	8.0	180.1	8.0	180.1	0.0	0.0	0.0	
	河野浄化センター	82.7%	70.8	4.0	66.7	4.0	66.7	0.0	0.0	0.0	
	小計		258.8	12.0	246.8	12.0	246.8	0.0	0.0	0.0	95.4%
越前町	朝日浄化センター	82.1%	260.0	260.0	0.0	260.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	宮崎浄化センター	85.9%	1.8	1.8	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
	織田浄化センター	85.5%	242.6	242.6	0.0	242.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
	小計		504.4	504.4	0.0	504.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
美浜町	美浜町浄化センター	83.6%	495.7	0.0	495.7	0.0	0.0	0.0	495.7	0.0	100.0%
高浜町	高浜町せらぎランド	79.9%	720.2	56.1	664.1	56.1	664.1	0.0	0.0	0.0	92.2%
おおい町	名田庄東部浄化センター	85.0%	681.0	0.0	681.0	0.0	0.0	681.0	0.0	0.0	100.0%
若狭町	三方浄化センター	84.7%	383.1	0.0	383.1	0.0	0.0	0.0	383.1	0.0	
	海越浄化センター		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	三宅浄化センター	84.0%	124.0	0.0	124.0	0.0	124.0	0.0	0.0	0.0	
	熊川浄化センター		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	小計		507.1	0.0	507.1	0.0	124.0	0.0	383.1	0.0	100.0%
五領川公共下水道事務組合	五領川浄化センター	67.4%	962.9	0.0	962.9	0.0	154.9	808.1	0.0	0.0	100.0%
計		78.1%	36,894.0	6,933.6	29,960.3	6,933.6	16,189.9	11,157.6	2,612.9	0.0	81.2%



(3) 福井県内の下水道事業の概要

(公共下水道、特定環境保全公共下水道、流域下水道)

\* 下段: 定住 上段: 観光(宿泊+日帰り)ピーク人口/日

令和2年2月末現在

自治体名	事業名	処理場名	排除方式	上段 処理方式 下段 処理開始年	都計決定 告示日 下法事業 認可日	令 和 2 年 2 月 末 現 在									
						全 体 計 画			認 可 計 画		認可処理能力 (日最大 m <sup>3</sup> /日)	現有池数 / 認可池数	事業認可 工 期 (年度)	事業着手 年度 (事業着手 年月)	
						計画人口 人	計画面積 ha	計画処理能 力(日最大 m <sup>3</sup> /日)	計画人口 人	計画面積 ha					
福井市	公共	境浄化センター	合流	標準活性 S34.4	H25.10.28 R2.8.5	47,240	852.0	23,800	47,240	852.0	23,800	23,800	エアタ 4/4	S23 (S23.4)	S23
	公共	日野川浄化 センター	分流 合流	標準活性 S60.10	H25.10.28 R2.8.5	157,600	4,157.0	128,800	157,600	4,135.0	128,800	128,800	エアタ 20/20	S23-H32 (S55.7)	S55 (S55.7)
	公共	流域下水道関連 (福井第1~3処理分区)	分流	流域 S62.6	H25.10.28 H30.4.23	15,930	679.0	—	16,770	679.0	—	—	九頭竜川 浄化 センター	S58-H32 (S58.10)	S58 (S58.10)
	特環	鷹巣浄化センター (鷹巣・国見)	分流	O D H10.4	— H30.11.14	1,580	107.0	1,100	2,390	107.0	2,300	2,300	1/1	H4-H36 (H4.11)	H4 (H4.11)
	特環	(フレックス)羽生 浄化センター	分流	POD H14.4.1	— H30.11.14	—	—	—	—	—	—	—	フレックス —	H 9 (H9.12)	H 9 (H9.12)
		美山 浄化センター	分流	POD H20.6	— H30.11.14	930	43.0	500	1,140	43.0	600	400	1/2	(H15.12)	(H15.12)
	公共	清水東部 環境センター	分流	O D S48.8.20	H25.10.28 H30.11.14	2,610	147.0	1,500	3,430	147.0	3,100	3,100	3/3	S46-H36 (S46.4)	S46 (S46.4)
	特環	清水西部 環境センター	分流	O D H 6.3.31	— H30.11.14	2,660	103.0	1,800	2,950	103.0	1,970	1,970	1/1	S62-H36 (S62.10)	S62 (S62.10)
	計						0		0		160,570	160,370			
敦賀市	公共	天筒 浄化センター	分流	高度処理 S58.7.1	H14.8.30 R2.2.14	55,860	2,430.0	39,250	49,410	1,618.0	37,575	39,250	6/7	S49-R6 (S49.10)	S49 (S49.10)
小浜市	公共	小浜 浄化センター	分流	標準活性 H 3.3.30	H15.1.17 H28.3.30	19,600	829.0	11,700	19,800	748.0	11,900	11,900	2/2	S58-H32 (S59.2)	S58 (S59.2)
大野市	公共	大野市下水 処理センター	分流	O D H15.4	H30.3.9 H30.3.9	20,200	917.5	11,000	21,050	902.8	6,000	6,000	2/3	H 8-H37 (H8.7)	H 8 (H8.7)
勝山市	公共	勝山 浄化センター	分流	標準活性 S60.6.1	H30.11.13 H30.8.10	17,250	945.0	15,500	18,900	945.0	13,000	13,000	4/5	S51-H34 (S52.2)	S51 (S52.2)
鯖江市	公共	鯖江市環境 衛生センター	分流	標準活性 S58.6.1	H30.12.18 H30.11.14	52,600	2,494.0	39,000	53,100	2,090.0	39,000	39,000	6/6	S49-H35 (S49.10)	S49 (S49.10)
	特環	公共関連特環	分流	—	—	—	—	—	—	—	—	—	鯖江市環境 衛生センターへ	H 16-H30 (H16.10)	H 17 (H17.10)
	特定	東工 汚水処理場	分流	—	H25.2.26 H30.11.14	—	12.0	8,600	—	12.0	8,600	8,600	1/1	S40-H35 (S40.4)	S40 (S40.4)
	計					52,600	2,506	47,600	53,100	2,102.0	47,600	47,600			
越前市	公共	家久 浄化センター	分流 合流	標準活性 S55.8	R2.1.31 H30.11.14	32,100	1,160.0	19,200	34,500	1,130.0	19,200	19,200	4/4	S45-H35 (S45.4)	S45 (S45.4)
	特環	公共関連特環	分流	家久浄化センター	—	6,000	212.0	—	6,200	212.0	—	—	家久へ	H 8-H35 (H8.10)	H 8 (H8.10)
	公共	水循環 センター	分流	O D H21.9.1	R2.1.31 H30.11.14	13,000	636.0	6,750	13,000	593.0	4,500	4,500	2/3	H11-H35 (H11.10)	H12 (H12.10)
	公共	今立 浄化センター	分流	嫌気好気ろ床法 H17.3.28	R2.1.31 H30.11.14	5,300	250.0	2,300	5,900	250.0	2,300	2,300	4/4	H12-H35 (H12.5)	H12 (H12.5)
	計					56,400	2,258.0	28,250	59,600	2,185.0	26,000	28,250			
あわら市	公共	流域下水道関連 (芦原第1~6処理分区)	分流	流域 S59.7.21	H8.3.22 H28.3.30	—	671.0	—	—	—	—	—	—	S54-H32 (S55.2)	S54 (S55.2)
	公共	流域下水道関連 (金津第1~4処理分区)	分流	流域 S60.10.1	H15.7.31 H28.3.30	—	828.4	—	—	—	—	—	—	S56-H32 (S56.6)	S56 (S56.6)
坂井市	公共	流域下水道関連 (三國第1~6処理分区)	分流	流域 S57.7.1	H15.7.31 H28.3.30	—	931.9	—	—	—	—	—	—	S48-H32 (S48.5)	S48 (S48.5)
	公共	流域下水道関連 (丸岡第1~2処理分区)	分流	流域 H 1.1.26	H 1.1.26 H28.3.30	—	1,065.5	—	—	—	—	—	—	S59-H32 (S59.5)	S59 (S59.5)
	公共	流域下水道関連 (春江第1~6処理分区)	分流	流域 S62.4.20	H18.1.31 H28.3.30	—	722.0	—	—	—	—	—	—	S57-H32 (S57.5)	S57 (S57.5)
	公共	流域下水道関連 (坂井第1~7処理分区)	分流	流域 H 8.3.27	H 8.3.27 H28.3.30	—	561.2	—	—	—	—	—	—	S59-H32 (S59.12)	S59 (S59.12)

\* 下段:定住、上段:観光(宿泊+日帰り)ピーク人口/日

令和2年2月末現在

自治体名	事業名	処理場名	排除方式	上段 処理方式 下段 処理開始年	都計決定 告示日 下法事業 認可日	全体計画		認可計画		認可処理能力 現有処理能力 (日最大 m3/日)	現有池数 / 認可池数	事業認可 工期 (年度)	事業着手 年度 (事業着手 年月)	
						計画人口	計画面積	計画処理能 力(日最大 m3/日)	計画人口					計画面積
						人	ha		人					ha
五領川 処理区	五領川 公共下水道 組合 (組合施工)	公共 坂井市	五領川 浄化センター	分流	標準活性 S58.4.1	H 2.8.24 H31.3.26	1,440		計画汚水量	1,440		3/3		
							3,300	162.0	1,823	3,440	159.0			1,903
		公共 永平寺町	五領川 浄化センター	分流	標準活性 S58.4.1	H 3.11.26 H30.11.7	5,240		計画汚水量	5,240				1,786
	2,100	143.7					1,751	2,100	117.3	小計 3,689				
	計					6,680		計画汚水量	6,680		永平寺 4,401			
永平寺町	公共	五領川浄化センター	分流	標準活性 H 7.3.31	H30.11.7	7,200	196.2	4,195	7,380	184.1	8,090	H 4-H35 (H4.11)	H 4 (H4.11)	
五領川浄化センター計								7,769			8,300			
永平寺町	特環	志比 浄化センター											H31.3 統合	
	特環	中央 浄化センター	分流	回転生物接触 S62.4.10	H30.11.14						3,180	S52-H32	S55	
	計					4,650	186.0	3,180	5,280	186.0	3,180	2/2		
美浜町	公共	美浜町 浄化センター	分流	O D H 7.4.1	H 6.3.4 H30.7.30	1,650 5,500			1,240 3,600		4,000 4,000	H 1-H33 (H2.3)	H 1 (H2.3)	
池田町	特環	池田水処理 センター	分流	O D H11.3.31	H31.3.26	1,100 2,040	127.0	1,640	2,135	127.0	1,640 1,640	H 5-H37 (H5.11)	H 5 (H5.11)	
南越前町	特環	南条 浄化センター	分流	POD H 5.3.31	H30.11.14	3,700	87.0	1,380	3,700	87.0	1,380	S63-H17 (S63.10)	S63 (S63.10)	
	特環	河野 浄化センター	分流	O D H12.3.31	H30.11.14	3,850 2,150			3,490 1,840		1,840 1,840	H 7-H14 (H7.6)	H 7 (H7.6)	
	計					3,850 5,850			3,490 3,220		3,220 3,220			
越前町	公共	朝日 浄化センター	分流	標準活性 S61.3.1	H24.3.22 H29.3.7	6,827	432.0	6,000	6,827	429.0	4,500	S53-H33 (S53.11)	S53 (S53.11)	
	特環	公共関連特環	分流	朝日浄化センター H 26.4.1	H29.3.7	2,137	92.0	—	804	33.0	—	H 24-H33	H 24	
	公共	織田 浄化センター	分流	O D H 6.10.25	H24.3.22 H29.3.7	3,632	244.0	3,600	2,810	187.0	2,400	H 1-H33 (H1.2)	S63 (H1.2)	
	特環	公共関連特環	分流	織田浄化センター H 8.6.28	H29.3.7	1,210	66.0	—	1,102	61.0	—	H 6-H33	H 6	
	特環	宮崎 浄化センター	分流	O D H 1.4.1	H24.3.22 H29.3.7	1,725	58.0	930	1,581	80.0	930 930	S59-H33 (S59.12)	S59 (S59.12)	
	計					15,531	892	10,530	13,124	790	7,830			
高浜町	公共	高浜町せいらぎ ランド	分流	嫌気無酸素好気式 H11.4.1	H25.3.15 H29.3.28	39,200 8,000			39,200 7,600		7,600 5,700	H5-H33 (H5.9)	H 5 (H5.9)	
おおい町	特環	名田庄東部 浄化センター	分流	O D H12.7.1	H29.3.30	1,800	53.0	980	1,800	53.0	980 980	H 5-H33 (H6.2)	H 5 (H6.2)	
若狭町	特環	三方 浄化センター	分流	凝集材添加OD H12.3.27	H30.10.23	4,200	98.0	2,600	4,200	98.0	2,600	H 5 (H5.12)	H 5 (H5.12)	
		三宅 浄化センター	分流	POD H11.4.1		2,510	114.0	1,200	2,510	114.0	1,200	H 5 (H5.12)	H 5 (H5.12)	
		熊川 浄化センター	分流	POD H 9.4.1		890	24.0	400	890	24.0	400	H 5-H22 (H5.12)	H 5 (H5.12)	
	簡易な 公共下水道	海越 浄化センター	分流	膜分離活性 H19.4.1	H30.10.23	270 197			270 197		230 230	H15-H21 (H15.12)	H15 (H15.12)	
	計					7,797	243.0	4,430	7,797	243.0	4,430			
九頭竜川 流域下水道	流域	九頭竜川 浄化センター	分流	標準活性 S57.7.1	H15.12.5 H28.2.10	21,262 119,960			21,262 128,950		76,200 76,200	S52-H32 (S52.10)	S52	
福井臨海 特定公共下水道	特定	テクノポート福井 浄化センター	分流	活性汚泥法+凝集沈殿 +活性炭吸着 H 5.12.1	R1.11.29 R2.1.22	—	842.0	27,000	—	776.0	22,000	S48-R7 (S48.10)	S48 (S48.10)	
県 計						80,692 644,238	— 30,499	21,262 665,322	104,476 768,026	— 28,824	666,425 550,560			

#### (4) 福井県における下水道の歴史

本県の下水道事業は、昭和23年（1948年）に初めて福井市において公共下水道事業が始まり、昭和34年（1959年）に供用開始しています。平成30年（2018年）3月末現在、県内全ての市町で下水道が整備され、供用を開始しています。

年 度	福 井 県	市 町 村 ・ 組 合
1948（昭和23年）		・県内で初めて、福井市が公共下水道事業に着手する。〔4月〕
1959（昭和34年）		・福井市が公共下水道事業で境浄化センターを供用開始する。〔4月〕
1970（昭和45年）		・武生市が公共下水道事業に着手する。〔4月〕
1971（昭和46年）		・清水町が公共下水道事業に着手する。〔4月〕
1973（昭和48年）	・福井臨海工業地帯（テクノポート福井）で、特定公共下水道事業に着手する。〔10月〕	・三国町が公共下水道事業に着手する。〔5月〕
1974（昭和49年）		・敦賀市、鯖江市が公共下水道事業に着手する。〔10月〕
1977（昭和52年）		・勝山市が公共下水道事業に着手する。〔2月〕
1978（昭和53年）	・九頭竜川流域下水道事業に着手する。〔2月〕 （福井市、三国町、芦原町、金津町、丸岡町、春江町、坂井町）	・永平寺町が特定環境保全公共下水道事業に着手する。〔4月〕 ・朝日町が公共下水道事業に着手する。〔11月〕
1979（昭和54年）	・北川・南川流域別下水道整備総合計画について大臣同意を得る。〔5月〕	・五領川公共下水道事務組合（丸岡町、松岡町）が設立され、公共下水道事業に着手する。〔2月〕
1980（昭和55年）		・芦原町が流域関連公共下水道事業に着手する。〔2月〕
1981（昭和56年）	・九頭竜川流域別下水道整備総合計画について大臣承認を得る。〔9月〕	・金津町が流域関連公共下水道事業に着手する。〔6月〕
1982（昭和57年）	・（財）福井県下水道公社が設立される。〔6月〕 ・九頭竜川流域下水道事業で九頭竜川浄化センターが供用開始する。〔7月〕	・春江町が流域関連公共下水道事業に着手する。〔5月〕
1984（昭和59年）		・小浜市が公共下水道事業に着手する。〔2月〕 ・丸岡町が流域関連公共下水道事業に着手する。〔5月〕 ・坂井町が流域関連公共下水道事業に着手する。〔12月〕 ・宮崎村が特定環境保全公共下水道事業に着手する。〔12月〕
1988（昭和63年）		・南条町が特定環境保全公共下水道事業に着手する。〔10月〕
1989（平成元年）		・織田町が公共下水道事業に着手する。〔2月〕
1990（平成2年）		・美浜町が公共下水道事業に着手する。〔3月〕
1992（平成4年）		・松岡町が公共下水道事業に着手する。〔11月〕

年 度	福 井 県	市 町 村 ・ 組 合
1993 (平成 5年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高浜町が公共下水道事業に着手する。〔9月〕</li> <li>・三方町、上中町が特定環境保全公共下水道事業に着手する。〔12月〕</li> <li>・池田町で、過疎代行下水道事業に着手する。〔11月〕 (～H11まで)</li> </ul>
1994 (平成 6年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九頭竜川流域別下水道整備総合計画 (第1回変更) について大臣承認を得る。〔1月〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名田庄村で、過疎代行下水道事業に着手する。〔2月〕 (～H12まで)</li> </ul>
1995 (平成 7年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・河野村で、過疎代行下水道事業に着手する。〔6月〕 (～H12まで)</li> </ul>
1996 (平成 8年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九頭竜川流域下水道事業に北潟湖流域が編入される。〔8月〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大野市が公共下水道事業に着手する。〔7月〕</li> </ul>
1997 (平成 9年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・美山町がフレックスプランで特定環境保全公共下水道事業に着手する。〔12月〕</li> </ul>
1998 (平成10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県下水道整備構想を策定する。〔2月〕</li> <li>・若狭湾流域別下水道整備総合計画について大臣同意を得る。〔10月〕</li> </ul>	
1999 (平成11年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内で初めて高浜町で、高度処理の処理場が供用開始する。〔4月〕</li> </ul> 
2000 (平成12年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>性能評価のモデル事業となった移動式脱水汚泥乾燥車 (おおい町：旧名田庄村)</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今立町が公共下水道事業に着手する。〔5月〕</li> <li>・汚泥処理施設共同整備事業 (MICS) により、名田庄村が移動式汚泥脱水乾燥車の整備に着手する。〔10月〕</li> </ul>
2001 (平成13年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定下水道施設共同整備事業 (スクラム) で、美浜町と三方町がゴミとの混焼施設建設に着手する。〔5月〕</li> </ul>
2002 (平成14年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九頭竜川流域別下水道整備総合計画 (第2回変更) について大臣承認を得る。〔1月〕</li> <li>・福井県汚水処理施設整備構想を策定する。〔3月〕</li> <li>・福井県下水汚泥処理総合計画を策定する。〔3月〕</li> </ul>	
2004 (平成16年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・九頭竜川流域関連市町の芦原町、金津町が合併によりあわら市となる。〔3月〕</li> <li>・福井豪雨により、下水道施設に多大な被害が発生する。(福井市、鯖江市等) 〔7月〕</li> </ul>
2005 (平成17年)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・南条町、今庄町、河野村が合併により南越前町となる。〔1月〕</li> <li>・朝日町、宮崎村、越前町、織田町が合併により越前町となる。〔2月〕</li> <li>・上中町、三方町が合併により若狭町となる。〔3月〕</li> <li>・武生市、今立町が合併により越前市となる。〔10月〕</li> <li>・大野市、和泉村が合併により大野市となる。〔11月〕</li> </ul>



年度	福 井 県	市 町 村 ・ 組 合
2006（平成18年）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井市、美山町、清水町、越廼村が合併により福井市となる。〔2月〕</li> <li>・松岡町、永平寺町、上志比村が合併により永平寺町となる。〔2月〕</li> <li>・大飯町、名田庄村が合併によりおおい町となる。〔3月〕</li> <li>・三国町、丸岡町、春江町、坂井町が合併により坂井市となる。〔3月〕</li> <li>・福井市下水道総合浸水対策緊急計画について大臣同意を得る。〔8月〕</li> </ul>
2008（平成20年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九頭竜川流域下水道事業の再評価を実施し、全体計画を11系列から9系列に変更する。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井市下水道総合浸水対策（月見・みのり地区）が完成。〔3月〕</li> <li>・鯖江市下水道総合浸水対策緊急計画（東工地区）について大臣同意を得る。〔3月〕</li> <li>・福井市合流改善計画について大臣同意を得る。〔3月〕</li> </ul>
2009（平成21年）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・越前市水循環センター一部供用〔9月〕</li> <li>・越前市合流改善計画について大臣同意を得る。〔3月〕</li> </ul>
2010（平成22年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新・福井県污水処理施設整備構想を策定する。〔3月〕</li> </ul>	
2012（平成24年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県下水道公社が財団法人から公益財団法人に移行する。〔4月〕</li> <li>・九頭竜川流域下水道事業において消化ガス発電施設の整備に着手する。〔7月〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚泥処理施設共同整備事業（MICS）により、福井市が消化ガス発電施設の整備に着手する。〔11月〕</li> </ul>
2013（平成25年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九頭竜川流域下水道事業において消化ガス発電施設の供用を開始する。〔3月〕</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚泥処理施設共同整備事業（MICS）により、福井市が消化ガス発電施設の供用を開始する。〔3月〕</li> </ul> 
2014（平成26年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九頭竜川流域下水道事業において水処理施設第8系列の供用を開始する。〔10月〕</li> </ul>	
2015（平成27年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九頭竜川流域下水道事業において全体計画を9系列から8系列に変更し、実質的な施設整備が完了する。〔2月〕</li> </ul>	
2019（令和元年）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県内の污水処理施設整備の現状と見通し（2019）を策定する。〔7月〕</li> </ul>	



---

## 福井県土木部河川課

〒910-8580 福井市大手3丁目17番1号  
TEL : 0776-21-1111 (内線 3474・下水道整備・管理グループ)  
0776-20-0503 (ダイヤルイン・下水道整備・管理グループ)  
E-mail: gesuidou@pref.fukui.lg.jp  
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kasen/>

令和2年2月

---